

夏の特別例会 セミの羽化観察

～感動体験 セミの羽化～

日 時：2023年7月23日（日）

場 所 京都市上京区京都御苑

天 候 晴れ

参加者 一般40名（内子ども10名） スタッフ10名 合計 50名

7月は毎年恒例の「セミの羽化観察会」です。御苑での開催は10年以上続いており、noi-Kyoto 会員、友の会、一般参加者で総勢100人となった年もありました。

しかし、コロナ禍での中断を経て昨年度は一般参加者がほとんどなくなり、今年はどうかなと心配をしていましたが、ぽつぽつと親子参加の方が集まってきました。

まずは、セミ・クエスト。問題数が多く、小さな子どもは退屈するかなと思いましたが、食いつきもよく、しっかりと考え、答えていました。

羽化するセミをみんなで探していくと、木の下の子イニゼミの抜け殻を小さな子どもたちが次々と見つけていきます。大人目線とは違う子どもの目線は新たな発見に繋がります。このようなところも子どもの多い観察会の醍醐味でしょうか。

下見の時から、乾御門近くの生け垣がちょうど子どもの目線に当たり、抜け殻がたくさん見られたことから、「このあたりで羽化を観察できたら」と誘導してきました。あたりも薄暗くなり、あちこちの木をセミ達がずんずん登っていきます。

一匹が、背中が割れて殻から出ようとがんばっています。あちらではすっかり殻を脱ぎ終わったセミがこわごわ羽を拡げようとしています。

子どもたちも大人もその神秘的な、生命の不思議さ、尊さを実感し、見入っていました。子どもたちは、スマホで動画を撮るのに夢中です。個人的にはカメラを通してではなく、じっくりと観察して欲しいと思いますが、時代の流れでしょうか？

今回は、子ども達も参加してくれて、和やかな楽しい観察会となりました。今年度は日曜夜の開催でした。子ども達は夏休みですが、大人は月曜日から仕事の方も多いので土曜日開催が良いのではないかと思います。

私も職場の方をお誘いしましたが、残念、コロナに罹って断念されました。「来年はゼツタイ参加したい」とお子さんが、今から心待ちにされているそうです。

（福井）



